

建設業社会貢献活動事例集

平成24年度

生活を守り
まちをささえる
建設業

一般社団法人 全国建設業協会
47都道府県建設業協会

はじめに

東日本大震災から早くも二年が経過しましたが、本格復興に向けての動きはまだまだ十分とは言えない状況が続いており、今後も、建設業界が気を緩めることなく、中心的な役割を担っていくという責任感をもって、社会的責任を果たしていくことが求められています。

建設業界が発災直後から果たしてきた被災者の救援・救助活動、瓦礫の撤去、道路の啓開作業等への取り組みにより、国民・社会の建設業に対する認識が少しずつ変わりつつあり、各地で災害対応空白地帯が現出しつつある中、今後も建設業の必要性や責務について、国民・社会に対し発信していくことが重要になっております。

また、昨年発生した笹子トンネルの天井板崩落事故で明らかなように、わが国の社会資本の老朽化・劣化が進んでおり、一日も早い維持管理への対応が喫緊の課題となっており、地域建設業の果たすべき役割はさらに大きくなっています。

こうした中、国土交通省が取りまとめた『建設産業の再生と発展のための方策 2011+2012』では、地域維持型契約方式の導入が盛り込まれるなど、地域を支える足腰の強い建設産業の構築や建設産業に多様なニーズ・役割への対応が課題であると提言されました。

このため、本会では、公共事業の必要性、計画的な社会基盤整備はもとより、地域の基幹産業として雇用の維持並びに災害復旧活動等に貢献している建設産業の正しい姿について、国民・社会から正しい理解が得られるよう、毎年7月を「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、国民・社会に広くアピールするとともに、公共事業への理解を深めるため、戦略的広報活動の推進にも力を入れた事業活動を展開しております。

本事例集は、本会が平成24年度に実施した「建設業社会貢献活動推進月間中央行事」において顕彰した各建設業協会・支部並びに会員企業が行った優れた社会貢献活動を事例集として取りまとめたものであります。

本事例集が地域建設業界の取り組んでいる社会的責任(CSR)と、国民生活の安全・安心の確保のため、災害発生時には危険を省みず、日夜奮励している地域建設業界の真摯な社会貢献活動をご理解いただくとともに、欧米諸国に比べて脆弱な我が国の社会基盤の計画的・継続的な整備の必要性を認識いただく一助となれば幸甚であります。

平成25年3月

一般社団法人 全国建設業協会

目 次

1. 建設業の社会貢献活動について	1
2. 「建設業社会貢献活動推進月間」について	2
(1) 社会貢献活動優秀事例の顕彰と事例集について	2
(2) 中央行事の開催について	2
(3) 功労者表彰	4
3. 社会貢献活動の事例 — 功労者表彰受賞者の活動事例から抜粋 —	6
3. 1 代表的な活動事例	6
(1) 東日本大震災の復旧・振興活動（東北建設業協会連合会）	6
(2) 桜島火山爆発総合防災訓練（鹿児島県建設業協会鹿児島支部） ..	10
(3) 夕張町における除雪支援活動（伊藤組土建(株)）	10
3. 2 協会・支部等の活動事例	18
(1) 災害復旧支援活動	19
(2) 環境美化活動	28
(3) 建設業ふれあい活動	33
(4) 社会福祉活動	35
(5) 啓蒙活動	38
3. 3 会員企業の活動事例	39
(1) 災害復旧支援活動	40
(2) 環境美化活動	41
(3) 環境保全活動	46
(4) 建設業ふれあい活動	48
(5) 社会福祉活動	50
4. 都道府県建設業協会・支部、地区協会が実施した活動	52
参考 リーフレット「生活を守り まちをささえる建設業 Vol. 7」（縮小版）. 74 (省略)	

1. 建設業の社会貢献活動について

「企業の社会的責任」(CSR)は、企業活動のプロセスに、経済性や法令遵守にとどまらず環境への配慮や社会的倫理性などを組み込み、様々なステークホルダー(利害関係者)に対する説明責任を果たすことにより、社会から信頼を受け、事業を継続的に発展させようとする活動ですが、近年、このCSRが企業評価の重要な要素となっております。

建設産業は、社会資本の整備を通じ、「国土の保全」、「地域の安全・防災」、「利便性の高い暮らし」等を実現し、社会に貢献してきました。本会傘下の各建設業協会並びに会員企業は、地域の基幹産業である建設業の社会的責任と使命を強く認識し、地域経済の活性化、雇用の確保に貢献するのみならず、国・地方自治体との災害協定に基づき、災害発生時には、住民の安全・安心を確保するため、不眠不休で応急復旧活動に取り組んでおります。

東日本大震災から早くも2年が経過いたしました。地域建設企業は、自らも被災する中、自衛隊や警察の救援活動のさきがけとなり、昼夜を徹して人命救助、被災者の救援、災害復旧に必要な道路の確保・啓開作業に従事するなど、復旧・復興活動にいまなお懸命に取り組んでおります。

そのため、国民の建設業に対する認識が変わりつつあり、わが国の脆弱な国土と自然条件の中で、多くの自然災害が頻発し、また巨大地震の発生が懸念されており、災害時における地域建設業の役割と責務が見直されつつあります。

しかしながら、このような地域建設業界の取り組みは、マスコミ等において報道される機会も少なく、建設業界も積極的なPR活動を行ってこなかったため、国民・社会にあまり知られていない状況にあります。

このため、本会では、平成18年度より毎年7月を「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、各都道府県建設業協会と緊密な連携を図りつつ、建設業界として様々な社会貢献活動に取り組んでいます。

本事例集の巻末には、平成24年に各都道府県建設業協会・支部、地区協会が実施した様々な社会貢献活動事例を記載していますので、ご参照ください。



2. 「建設業社会貢献活動推進月間」について

(1) 社会貢献活動優秀事例の顕彰と事例集について

本会では、7月の「建設業社会貢献活動推進月間」の活動の一環として、各地域で実践された様々な社会貢献活動について各都道府県建設業協会を通じて広く収集し、優れた活動事例については、全建表彰規程に基づき厳正な審査・選考を経て、この月間中に開催する中央行事において、功労者表彰として顕彰を行っております。

平成24年度は、都道府県建設業協会・支部等を対象とした第3条関係で19事例、会員企業を対象とした第4条関係で21事例の計40事例が選ばれ、浅沼会長名の表彰状と記念品の額が贈呈されました。

本事例集は、本年度の中央行事において受賞された40事例の中から、当日、事例発表を行った東北建設業協会連合会の「東日本大震災の復旧・復興活動」、鹿児島県建設業協会鹿児島支部の「桜島火山爆発総合防災訓練」並びに伊藤組土建株式会社(北海道)の「夕張市における除雪支援活動」の3事例を始め、代表的な活動事例を第3条、第4条別に整理し、①災害復旧・防災支援活動、②建設業ふれあい活動、③環境美化・保全活動、④社会福祉活動等に分類し、紹介するものです。

(2) 中央行事の開催について

本会では、地域の基幹産業として地域経済・雇用等の維持並びに災害復旧活動等に貢献している建設産業の正しい姿について国民・社会からの理解・認識を醸成するため、毎年7月を「建設業社会貢献活動推進月間」と定めるとともに、月間期間中に、各都道府県建設業協会並びに会員企業と連携し、地域建設業界の実践している幅広い社会貢献活動を国民・社会に広くアピールするため、毎年、中央行事を開催しておりますが、本年度は7月26日に、東京・経団連会館において、第7回目の中央行事を開催いたしました。

中央行事では、浅沼会長より、「東日本大震災や、豪雨災害等においても、地域を熟知した地元建設業でなければ即時の適切な対応はできない。建設業の重要な役割と魅力を社会に認識してもらうためには、地域のための地道な社会貢献活動を継続していくことが重要である」との開会挨拶に続き、来賓である国土交通省の日原建設流通政策審議官より、「建設業界の災害対応に感謝している。地域建設業の維持・振興は必要である。」との祝辞が述べられた。

続いて、本年度の優れた社会貢献活動功労者の表彰式が行われ、当日、出席された建設業協会・支部、会員企業の受賞者に、浅沼会長より表彰状と記念品が伝達された。

また、受賞者の中から、優れた事例として、①東北建設業協会連合会、②鹿児島県建設業協会鹿児島支部、③伊藤組土建(株)の3事例について事例発表が行われましたが、

参加者からは、建設業ならではの優れた社会貢献活動に大きな関心と惜しめない賛辞がおくられました。

さらに、記念講演として、歴史作家として著名な井沢 元彦先生を講師に迎え、『歴史に学ぶ強い組織づくり』と題する講演会を開催するとともに、記念懇親会では、井沢先生、受賞者を囲み、本会正副会長並びに各都道府県建設業協会会長と国土交通省幹部、関係団体幹部等が終始和やかに歓談し、午後7時過ぎ、盛会裡に散会しました。

本会が実施した本年度の中央行事の内容は、下記のとおりです。

行事名	平成24年度建設業社会貢献活動推進月間中央行事
日時	平成24年7月26日(木) 14:00~19:00
場所	経団連会館4階ダイヤモンドルーム
内容	<p>(1) 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長挨拶 (一社)全国建設業協会会長 浅沼 健一 ・来賓ご挨拶 国土交通省建設流通政策審議官 日原 洋文氏 <p>(2) 建設業社会貢献活動功労者表彰式</p> <ul style="list-style-type: none"> ①規定第3条関係(協会・支部等)功労者表彰(19協会・支部) ②規定第4条関係(会員企業)功労者表彰(21社) <p>(3) 建設業社会貢献活動事例発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「東日本大震災の復旧・復興活動」=東北建設業協会連合会 ②「桜島火山爆発総合防災訓練」=(社)鹿児島県建設業協会鹿児島支部 ③「夕張市における除雪支援活動」=伊藤組土建株式会社 <p>(4) 記念講演会 『歴史に学ぶ強い組織づくり』 講師：作家 井沢 元彦先生</p> <p>(5) 記念懇親会</p>
参加者	約200名(国土交通省、都道府県建設業協会役員、建設関係団体及び一般関係者)



(3) 功労者表彰

「建設業社会貢献活動推進月間」において、次に掲げる協会・支部等（19 団体）及び会員企業（21 社）が、建設業社会貢献活動功労者として表彰されました。

○功労者表彰受賞者 — 協会・支部等（規程第3条関係） —

表彰分類	受賞者（協会・支部等）	都道府県
災害復旧支援活動	(一社)岩手県建設業協会 会長 宇部 貞宏 (社)宮城県建設業協会 会長 佐藤 博俊 (一社)福島県建設業協会 会長 小野 利廣 東北建設業協会連合会 会長 佐藤 博俊 (一社)可茂建設業協会 (社)京都府建設業協会 船井支部 (社)奈良県建設業協会 十津川支部	岩手県 宮城県 福島県 東北地方 岐阜県 京都府 奈良県
防災支援活動	(社)鹿児島県建設業協会 鹿児島支部	鹿児島県
環境美化活動	(社)長野県建設業協会 大北支部 (一社)岐阜県建築工業会 (社)岡山県建設業協会 津山支部 (社)山口県建設業協会 柳井支部 (社)高知県建設業協会 南国支部	長野県 岐阜県 岡山県 山口県 高知県
建設業ふれあい活動	(一社)岩手県建設業協会 奥州支部青年部会 (社)長崎県建設業協会 対馬支部	岩手県 長崎県
社会福祉活動	(一社)旭川建設業協会 (社)長野県建設業協会 松筑支部 (社)杵島建設業協会	北海道 長野県 佐賀県
啓蒙活動	留萌建設協会 萌志会	北海道

以上 19 協会・支部

○功労者表彰受賞者 — 会員企業（規程第4条関係） —

表彰分類	受賞者（会員企業）	都道府県
災害復旧支援活動	伊藤組土建(株) (株)カザケン	北海道 岡山県
環境美化活動	市橋建設(株) (株)大坂組 中城建設(株) 丸か建設(株) 秋田土建(株) 白岩土木建築(株) (株)石井組 (株)得能組 木下建設(株) 第一建設(株)	北海道 青森県 宮城県 宮城県 秋田県 山形県 静岡県 富山県 和歌山県 鹿児島県
環境保全活動	(株)中山組 刈屋建設(株)	北海道 岩手県
建設業ふれあい活動	西江建設(株) 三大宝建設(株)	北海道 滋賀県
社会福祉活動	川田工業(株) 石塚建設興業(株) 春山建設(株) (株)柿崎工務所 (株)デーロス	北海道 北海道 宮城県 山形県 滋賀県

以上 21 社